

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/3>

参考値

(データ集約 : 1/10)

採取場所	3号機原子炉建屋上部① (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部② (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部③ (原子炉上北東側(下方向))		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年1月6日 9時15分～9時45分		平成24年1月6日 9時15分～9時45分		平成24年1月6日 10時10分～10時40分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.9E-03	1.5	3.1E-03	1.6	3.5E-03	1.8	2E-03
Cs-137 (約30年)	3.7E-03	1.2	4.0E-03	1.3	4.4E-03	1.5	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約9E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/3>

参考値

(データ集約 : 1/10)

採取場所	3号機原子炉建屋上部④ (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部⑤ (機器ハッチ開口部3階付近)		3号機原子炉建屋上部⑥ (機器ハッチ開口部3階付近)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年1月6日 10時10分~10時40分		平成24年1月6日 11時05分~11時35分		平成24年1月6日 12時00分~12時30分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	2.6E-03	1.3	2.9E-03	1.5	1.7E-03	0.85	2E-03
Cs-137 (約30年)	3.2E-03	1.1	3.6E-03	1.2	2.2E-03	0.73	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約2E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/3>

参考値

(データ集約 : 1/10)

採取場所	3号機原子炉建屋上部⑦ (機器ハッチ開口部1階)						②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
試料採取日時刻	平成24年1月6日 11時05分~12時35分						
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-					1E-03
Cs-134 (約2年)	1.0E-03	0.50					2E-03
Cs-137 (約30年)	1.3E-03	0.43					3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。